

高機能車速感応ドアロックユニット
インテリロック
取り付け解説書

Galleyra

安全に正しくお使いいただくために

- 取り付け作業の前にこの「取り付け解説書」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
- この「取り付け解説書」の表示では、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示をしています。その表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- 本製品は DC12V 車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの DC24V 車では使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- 配線作業中は、バッテリーのマイナス端子を外してください。ショートによる事故の原因となります。
- 車両に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、電気配線、タンク、ワイヤーなどの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意しておこなってください。パイプ類などの損傷により、火災や事故の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。これらを使用しますと、制御不能や発火、事故の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグの動作を妨げる位置には絶対に本製品を取り付けたり配線をしないでください。エアバッグの動作を妨げる位置に取り付け・配線をすると、万一のとき、事故やケガの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となります。
- 本製品を分解したり改造したりしないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 正常に動作しない状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変なにおいがするなどの異常がおきた場合は、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因となります。
- ドリルなどで穴あけ作業をする場合は、ゴーグルなどの目を保護するものを使用してください。破片などが目に入ったりしてケガや失明の原因となります。
- 接続コード類の配線は高温部を避けて行ってください。コード類の被服が溶けてショートし、事故・火災・感電の原因となります。特にエンジンルーム内での配線には注意してください。



注意

- 車両のネジを使用して本製品の取り付けやアースをとる場合は、ネジがゆるまないように確実に締めつけてください。ネジがゆるみ、事故や故障の原因となります。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、ほこり、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本製品に水やほこり、油煙が入り込みますと、発煙や発火、故障の原因となります。
- 直射日光や、ヒーターの熱風があたる場所などへの取り付けは避けてください。本製品の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。
- 取り付け解説書に記載された通りに配線を接続してください。正規の接続を行わないと、火災や故障の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付けるときは、車両メーカーに作業場の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動し、ケガや事故の原因となります。
- 車両のネジ部分やシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や火災、感電の原因となります。

もくじ

はじめに	4
製品の特徵	4
梱包内容	4
配線の接続について	4
配線図について	4
ユニットの動作概要	5
基本的な動作について理解する	6
各配線の役割と解説	7
接続する配線を特定する	12
最低限必要な配線	13
アンロック機能を追加する場合	14
さらに機能を追加する	15
さらに機能を追加する2	15
ドアロックの制御方式	17
ドアロック方式の種類	18
機能を設定する	21
設定機能を利用するために最低限必要な配線	22
設定モードに入るには？	23
設定モードでの動作や設定方法を理解する	24
設定機能の内容	25
擬似シートベルト信号出力選択	25
イグニッションコントロールドアロック／アンロック選択	25
エンジン停止後30秒以内ドア開時アンロック選択	25
車速感応ドアロック速度選択	25
プラス入力アンロック選択	26
マイナス入力アンロック選択	26
プラス入力3切り替え	26
ドアロック前アンロック、アンロック前ドアロック選択	27
入カスキャンタイム選択	27
参考資料：一般的なトヨタ車での取り付け方	28
トラブルシューティング	32

はじめに

このたびは当製品を御買い上げ頂きまことにありがとうございました。
製品は全て全機能をテスト後に出荷させて頂いておりますが、万が一不良品でありました場合速やかに良品と交換させていただきますので、お買い上げいただいた販売店へご連絡頂きます様をお願いします。但し、お客様の過失による破損と判断した場合は修理費と送料を頂戴いたしますので予めご了承願います。なお、初期不良交換は商品到着後1ヶ月、無償修理となる保証期間は商品到着後1年とさせていただきます。

製品の特徴

本品は車両を走行させたときに、ドアをロックすることを目的として開発された製品です。取り付け車種に応じていろいろな設定を行うことができます。

梱包内容

- | | |
|------------------------|------|
| 1. 車速感応ドアロックユニット | 1台 |
| 2. 取り付け解説書（本解説書） | 1部 |
| 3. 配線接続用部材（ワンタッチコネクタ等） | 1セット |

配線の接続について

ユニットからは15本の配線がでています。接続する車種や、希望する機能に応じて接続しなければならない配線の本数が異なります。次ページ以降を参照してどの配線を接続しなければならないかを予め把握してください。
※使用している電線の太さはAWG22（約0.33SQ相当）です。ワンタッチコネクタは添付のものを使用し、接続先の配線の太さによって使い分けてください。白は細線（0.18～0.38SQ）用、赤は太線（0.3～0.75SQ）用です。

配線図について

なにも資料が無い状態では取り付けが困難となります。弊社にて資料を用意させていただいていない車種へ取り付ける場合は、事前にディーラー様にて下記部分の配線図のコピーを入手しておくことをオススメします。

- | | | | |
|-------------------|----------------|-------|--------|
| ・ ドアロック | ・ コンビネーションメーター | ・ 室内灯 | ・ カーナビ |
| ・ シートベルトウォーニングランプ | ・ シフトインジケータ | ・ 充電 | |

ユニットの動作概要

基本的な動作について理解する

エンジン始動（ユニットの電源入）後、時速約 10km/h 以上（設定可能）になればドアをロックします。走行後、シフトゲートレバーを P（パーキング）に入れるとアンロックします。アンロックはユニットがロックを行った後でないと開始されません。その他にも下記の機能があります。

1. ドア開検出機能

車速ロック時にドア開を検出した場合はドアを閉られるまで待つてロックします。また、約 10km/h のロック条件成立速度以上でドアを開けると閉じた後に再びロックします。

2. エンストアンロック機能

走行中にエンストを検出するとアンロックします。事故が起こり、エアバッグが展開したときに燃料ポンプを停止する車種の場合は、エンジンが停止しますので同時にアンロックします。

※事故の際、ユニットへの給電が途絶えた場合はアンロックされません。

3. パニックモード機能

ユニットの電源入時に車速が約 3km/h 以上であればエマージェンシー状態に移行し、アンロック制御したあと動作を停止します。この状態では、再度ドアロックされることはありません。エンジンを停止し、30 秒経過すると解除されます。

4. 擬似シートベルト非装着信号送出機能

トヨタ車では運転席シートベルトが装着されている場合は運転席パワーウインドウマスタースイッチにあるロック／アンロックボタン以外でロック／アンロックできなくなっています。そのために、他社製の車速感応ドアロックユニットではパワーウインドウマスタースイッチを改造して配線を直接取り出すなどの処置で対応していますが、当ユニットではロック／アンロック制御時に擬似シートベルト未装着信号を送出することによりこの問題を解決しております。従ってパワーウインドウマスタースイッチを改造する必要はありません。

※一部、擬似シートベルト信号が対応できない車種があります

5. エコ対応省電力仕様

常時電源線を接続していても、エンジン停止後 30 秒経過すると自動的に自身の電源を完全に OFF にします。

※ユニットは常時電源線を接続しなくても使用できますが、常時電源線を接続すると使用できる機能が拡張されます。

各配線の役割と解説

配線色	基本的な接続先	接続先のメモ
①黒	ボデーアースへ接続	
②黄	常時電源へ接続	
③赤	イグニッション電源へ接続	
④緑	ロック出力線、詳細はドアロック方式を参照	
⑤水	アンロック出力線、詳細はドアロック方式を参照	
⑥白	車速信号へ接続	
⑦茶	運転席のドア開信号へ接続	
⑧茶 / 白	運転席以外のドア開信号へ接続	
⑨桃	パーキングレンジ（Pレンジ時に+12Vの場合）へ接続	
⑩桃 / 白	アンロックコントロール入力(+) 未使用	
⑪桃 / 黒	アンロックコントロール入力(+) 未使用	
⑫青	充電警告灯（オルタネーター端子）へ接続	
⑬青 / 白	パーキングレンジ（Pレンジ時にアースされる場合）へ接続	
⑭灰	シートベルト出力線、詳細はドアロック方式を参照	
⑮紫	運転席ドアロックモーターのアンロック側へ接続	
！注意！	使用しない配線は必ずビニルテープで絶縁してください	

※接続作業をスムーズに行う為、取り付け車両の接続先をメモし、使用する配線と使用しない配線を整理します
※14ページからの「接続する配線を特定する」を参照して、必要な配線を選択してください

線色	解説と接続先
黄	<p><u>+12V常時電源</u></p> <p>イグニッションキーをOFFにした後の動作（下記参照）を行う場合に接続が必要です。下記機能が不要の場合は接続を省略できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イグニッションコントロールドアアンロック 2. キーオフ後30秒以内にドアを開けた場合アンロックする機能
赤	<p><u>+12Vイグニッション電源</u> 接続を省略できません</p> <p>ユニットが動作するために必要な電源線です。</p> <p>イグニッションキーをON（走行位置）にしたときに+12Vになる電源線に接続します。よく似た配線にACC電源がありますが、これはスターター作動時に0Vとなるため使用できません。</p>
黒	<p><u>アース</u> 接続を省略できません</p> <p>ユニットが動作するために必要な電源線です。</p> <p>車両アースに接続します。</p>
緑	<p><u>ドアロック出力線（マイナスコントロール）</u> 接続を省略できません</p> <p>ユニットからドアロックを行う配線です。</p> <p>マイナスコントロールとは、ドアロック制御時にアースになり、通常はオープンになる信号線です。車両のドアロックスイッチを押している間だけ0V、離れたときに5V～12Vに戻る配線に接続します。</p> <p>プラスコントロール車と、ドアロックモーターを直接制御する場合は別売りのドアロックリレーを接続します⇒ページ16参照</p>
水	<p><u>ドアアンロック出力線（マイナスコントロール）</u></p> <p>ユニットからドアアンロックを行う配線です。</p> <p>マイナスコントロールとは、ドアアンロック制御時にアースになり、通常はオープンになる信号線です。車両のドアアンロックスイッチを押している間だけ0V、離れたときに5V～12Vに戻る配線に接続します。</p> <p>プラスコントロール車と、ドアロックモーターを直接制御する場合は別売りのドアロックリレーを接続します⇒ページ16参照</p>

線色	解説と接続先
白	<p>車速パルス入力 接続を省略できません</p> <p>車速を検出するためのパルス入力です。 カーナビ用に用意されている車速信号線へ接続します。</p>
茶 茶 / 白	<p>ドア開検出線</p> <p>ドアを開いたことを検出する配線です。 この配線を接続すると助手席や後部座席の乗員が「自分でドアロックを解除」して降車した場合にドア開を検出し、再車速ロックを行うことができるようになります。ルームランプをドア連動にした状態で、ドア閉時に5V～12V、ドア開時に0Vになる配線に接続します。</p> <p>※運転席と運転席以外のドア開信号が独立している場合は、茶線を運転席用、茶 / 白線を運転席以外用としてください。</p>
桃 (入力1) 桃 / 白 (入力2)	<p>アンロックコントロール信号 (プラス制御用)</p> <p>この配線に+12Vが入力されるとアンロックされる配線です。 シフトレバーがPレンジに入ったときに+12Vになる配線に接続します。</p> <p>※Pレンジ信号への接続が困難な場合、カーナビ用のRレンジ信号へ接続してください。Rレンジ信号に接続すると、シフトレバーをDレンジからPレンジに移動する際、瞬間的にRレンジになる時間をとらえてアンロックします。</p> <p>※シフトレバーがPレンジになったとき、アースされる車種の場合はマイナス制御線 (青、青 / 白) を使用してください。</p>
青 (入力1) 青 / 白 (入力2)	<p>アンロックコントロール信号 (マイナス制御用)</p> <p>この配線がアースされるとアンロックされる配線です。 シフトレバーがPレンジに入ったときにアースされる配線や、L端子信号 (充電警告灯)、サイドブレーキ信号等に接続します。</p> <p>※Pレンジ信号への接続が困難な場合、カーナビ用のRレンジ信号へ接続してください。Rレンジ信号に接続すると、シフトレバーをDレンジからPレンジに移動する際、瞬間的にRレンジになる時間をとらえてアンロックします。</p> <p>※シフトレバーがPレンジになったとき、+12Vになる車種の場合はプラス制御線 (桃、桃 / 白) を使用してください。</p>

線色	解説と接続先
白	<p>擬似シートベルト出力線</p> <p>ユニットがロック／アンロック信号を出力する直前に出力されます。</p> <p>運転席シートベルト装着時に5V～12V、非装着時に0Vになる配線に接続します。</p>
紫	<p>ドアロックモーター動作検出線</p> <p>ドアロックモーターが動作し、ドアロックを解除したことを検出する配線です。この配線を接続すると、集中ドアロックでドアロックを解除したときに、再度車速感応ドアロックを行います</p> <p>※ドアアンロック時に+12Vになり、0.5秒程度経過すると0Vに戻る配線に接続してください。</p> <p>※運転席以外のドアロックを<u>手動で解除</u>した場合は、集中ドアロックが作動しませんので検出できません。</p>
桃 / 黒	<p>エッジ方向設定可能アンロックコントロール信号（プラス制御用）</p> <p>この配線は設定によって入力のエッジ方向を変更することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常は0Vで、有効時+12Vになる信号 ・通常は12Vで、有効時0Vになる信号 <p>のどちらかを設定することができます。</p> <p>たとえば後者の設定にして、燃料ポンプの電源線に接続すると、エアバッグが展開して燃料ポンプが停止する車両の場合は同時にドアがアンロックされます。</p> <p>※燃料ポンプが停止すると、エンストしますのでL端子信号（充電警告灯）の配線を接続している場合は改めて燃料ポンプへの配線を接続する必要はありません。</p> <p>※初期状態では、桃・桃 / 白線と同じく+12Vが入力されたときにアンロックするように設定されています。燃料ポンプ電源へ接続する場合は、設定を変更してください。</p>

接続する配線を特定する

接続が必要な配線を選択する

最低限必要な配線

下記が4本（シートベルト線を接続する場合は5本）が車速感応ドアロックユニットを動作させる為に最低限必要な配線となります。

この4本のみでの接続を行った場合は、車速ロックのみ動作し、各種アンロック機能と、設定機能は使用できません。

線色	内容
赤	+12Vイグニッション電源
黒	アース
緑	ドアロック出力線（マイナスコントロール）
白	車速パルス入力
灰	擬似シートベルト出力線※

※シートベルトを装着していると、ドアロック／アンロック信号を受け付けない車種（トヨタ車の一部）のみ擬似シートベルト出力線を接続してください。

※ドアロック出力線はマイナスコントロールの場合のみ直結できます。その他の方式の場合はドアロックリレー（別売）が必要となります。

⇒ページ16参照

アンロック機能を追加する場合

シフトレバーをPレンジ（Rレンジ）に入れたときにアンロックする機能を使用するには、下記2本の配線を追加してください。

線色	内容
桃	アンロックコントロール信号（プラス制御） *車両のPレンジ信号がプラス制御の場合に使用
青 / 白	アンロックコントロール信号（マイナス制御） *車両のPレンジ信号がマイナス制御の場合に使用
水	ドアアンロック出力線（マイナスコントロール）

} どちらか一方を使用

※車両のPレンジ信号線がプラス制御（Pレンジにしたときに+12Vが出力される）かマイナス制御（Pレンジにしたときにアースされる）のどちらの方式かを特定して、桃線又は青線のどちらか一方を使用してください。

*次ページの図を参照

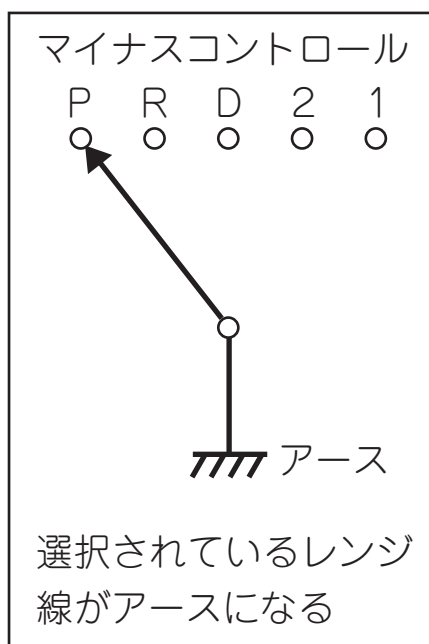
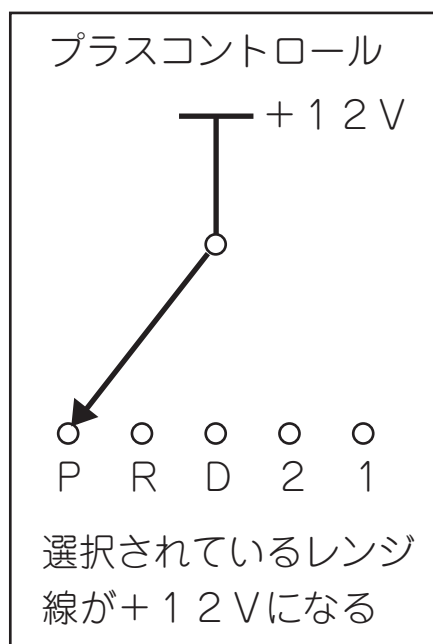
※Pレンジ信号線が接続困難である場合は、カーナビ用に用意されているRレンジ信号線に接続を行ってください。

※ドアアンロック出力線はマイナスコントロールの場合のみ直結できます。その他の方式の場合はドアロックリレー（別売）が必要となります。

⇒ページ16参照

Pレンジ線のプラスコントロールと、マイナスコントロール

シフトゲート信号のプラスコントロールとマイナスコントロールの違い



さらに機能を拡張する 1

利便性向上の為、接続を推奨する配線です。次の機能が使用可能となります。

- ・ドア開検出後、再車速ロック機能
- ・インテリ設定機能
- ・イグニッション連動ドアロック機能（設定で ON にする必要があります）
- ・イグニッション連動ドアアンロック機能（設定で ON にする必要があります）
- ・ドアアンロック後、再ロック機能
- ・エンスト時アンロック機能

線色	内容
黄	+12V常時電源
茶	ドア開検出線（運転席用）
茶/白	ドア開検出線（運転席以外用）
紫	ドアロックモーター動作検出線（ドアアンロック側）
青	アンロックコントロール線（L端子へ接続）

※ドア開信号は、運転席とその他座席が区別されている車種の場合は、茶と茶/白の両方を使用してください。区別されていない車種の場合は茶のみ使用し、茶/白は未使用としてください。

※ドアロックモーター動作検出線は、ドアアンロックしたときに0.5～1秒程度+12Vになる配線（ドアロックモーター配線のアンロック側）に接続してください。

※青はL端子（充電警告灯）へ接続するとエンスト時にアンロックします。

さらに機能を拡張する 2

特に接続を必要としない配線です。次の機能が使用可能となります。

- ・エンスト時アンロック機能（L端子配線が未接続の場合のみ）

線色	内容
桃/黒	エッジ方向設定可能アンロック制御線（プラスコントロール） エッジ方向を ON->OFF 時アンロックに設定を変更すれば、この配線を燃料ポンプ配線に接続できます。エアバッグが展開すれば燃料ポンプが停止する車種の場合、事故時にアンロックさせることができます。

※L端子検出線を接続している場合は、燃料ポンプが停止したときにエンストしますので燃料ポンプへ配線を接続する必要はありません。

※ハイブリッド車など、走行中にエンジンが停止する車種の場合は燃料ポンプへは接続しないでください。

ドアロックの制御方式

ドアロック方式の種類

ドアロック線とドアアンロック線については、車両の集中ドアロック方式を正確に把握して、正しく接続を行ってください。

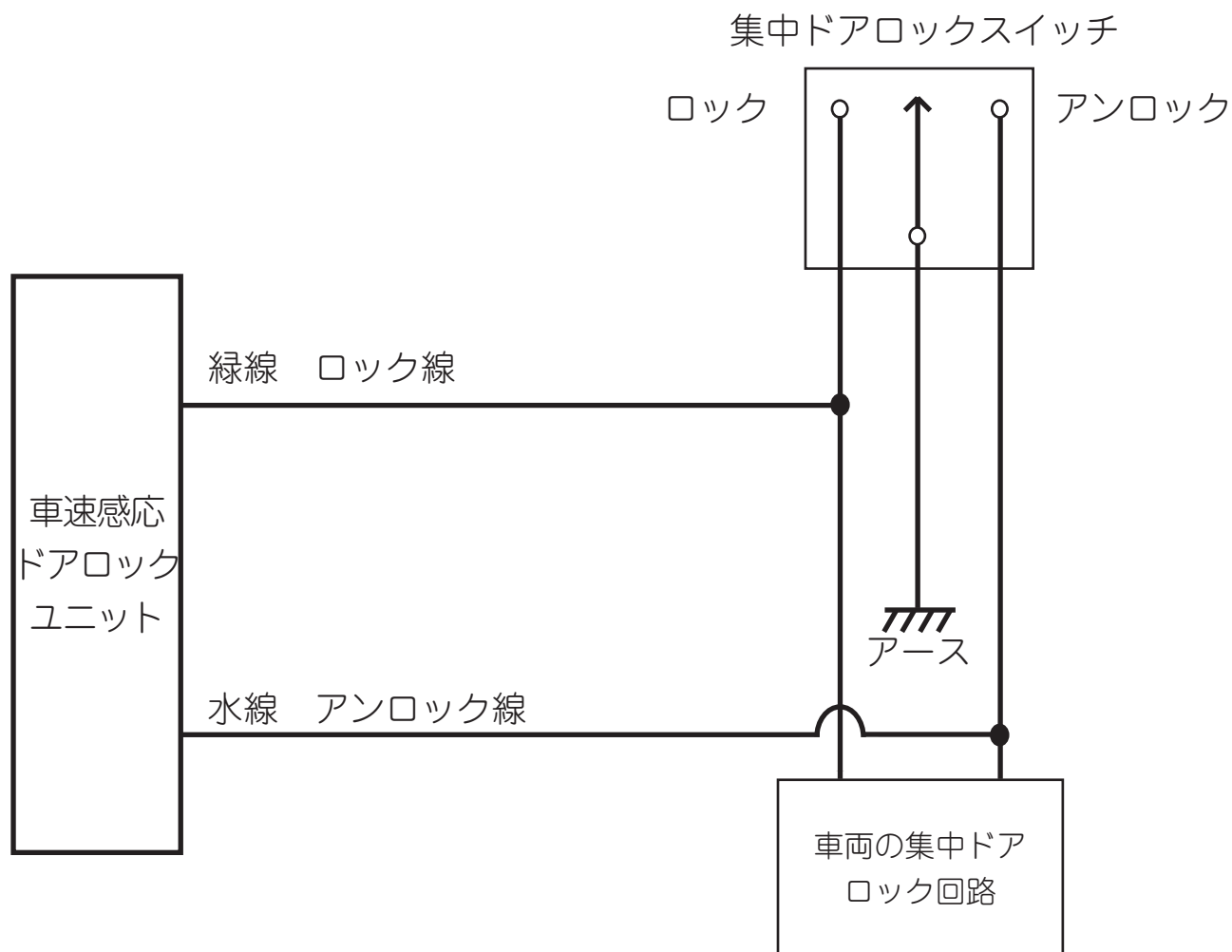
タイプA	マイナスクントロールドアロック方式
	ドアロックスイッチが独立している場合は、殆どこの方式です ・ほとんどのトヨタ車 ・ホンダ車の一部 ※ドアロックスイッチが独立していても、プラスコントロールの場合はタイプBになります
タイプB	プラスコントロールドアロック方式
	ドアロックスイッチが独立している場合でも、一部の外車ではこの方式が採用されています ・一部の外車 ※タイプBの場合ドアロックリレー（別売）が必要となります
タイプC	ドアロックモーター直接制御方式
	運転席ドアロックノブを操作すると集中ドアロックが働く場合はこの方式です ・トヨタ車の一部 ・殆どのホンダ車 ・日産車 ※タイプCの場合ドアロックリレー（別売）が必要となります

タイプA

(一) マイナスコントロールドアロック方式

運転席ドアロックノブと、ドアロックスイッチが別々になっており、ドアロックスイッチが通常は中立状態で、ロック（アンロック）側を押すとアースされる方式。

トヨタは殆どこの方式です。

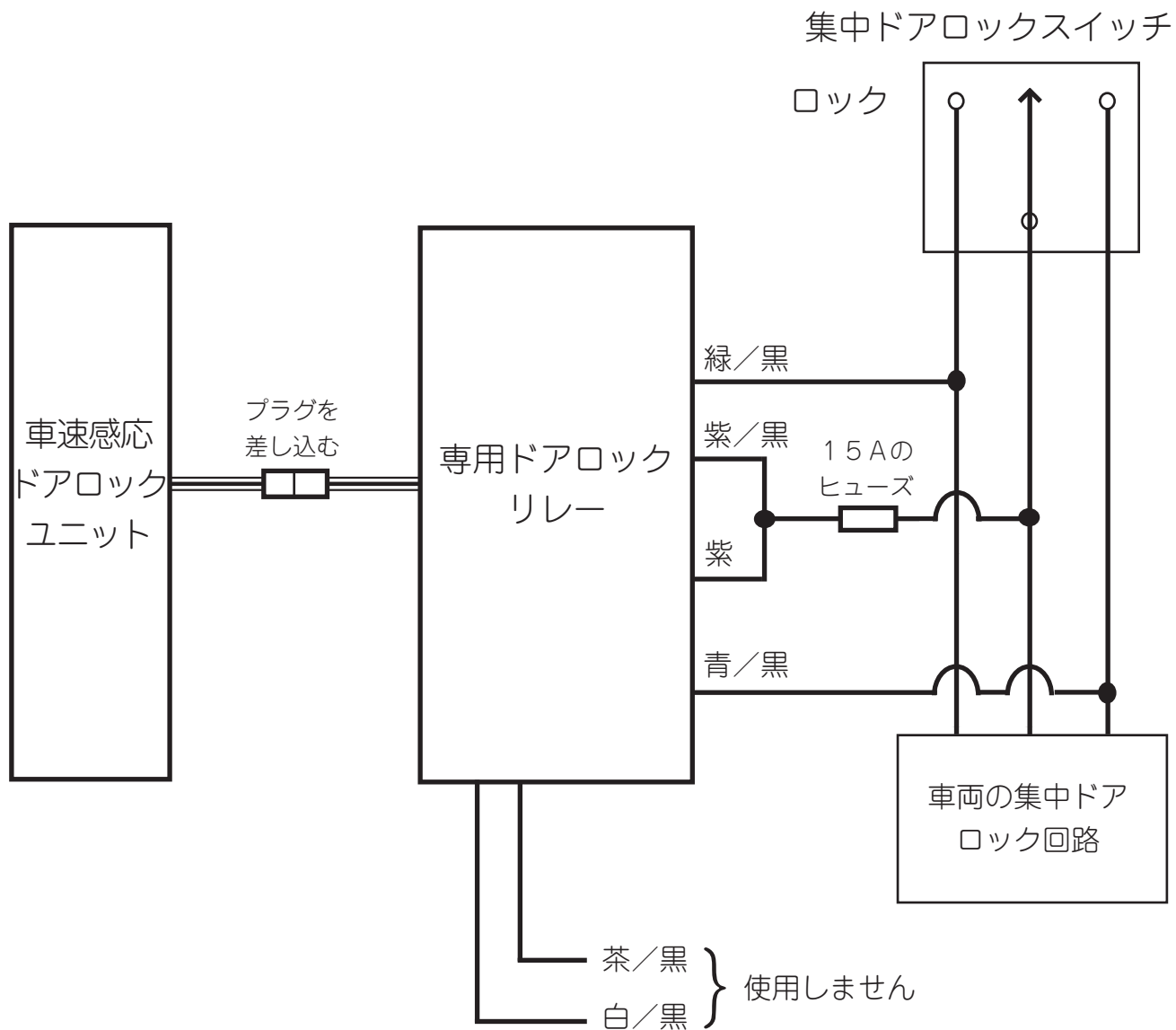


タイプB

(+) プラスコントロールドアロック方式

運転席ドアロックノブと、ドアロックスイッチが別々になっており、ドアロックスイッチが通常は中立状態で、ロック（アンロック）側を押すと +12V に接続される方式。

一部の外車で採用されています。

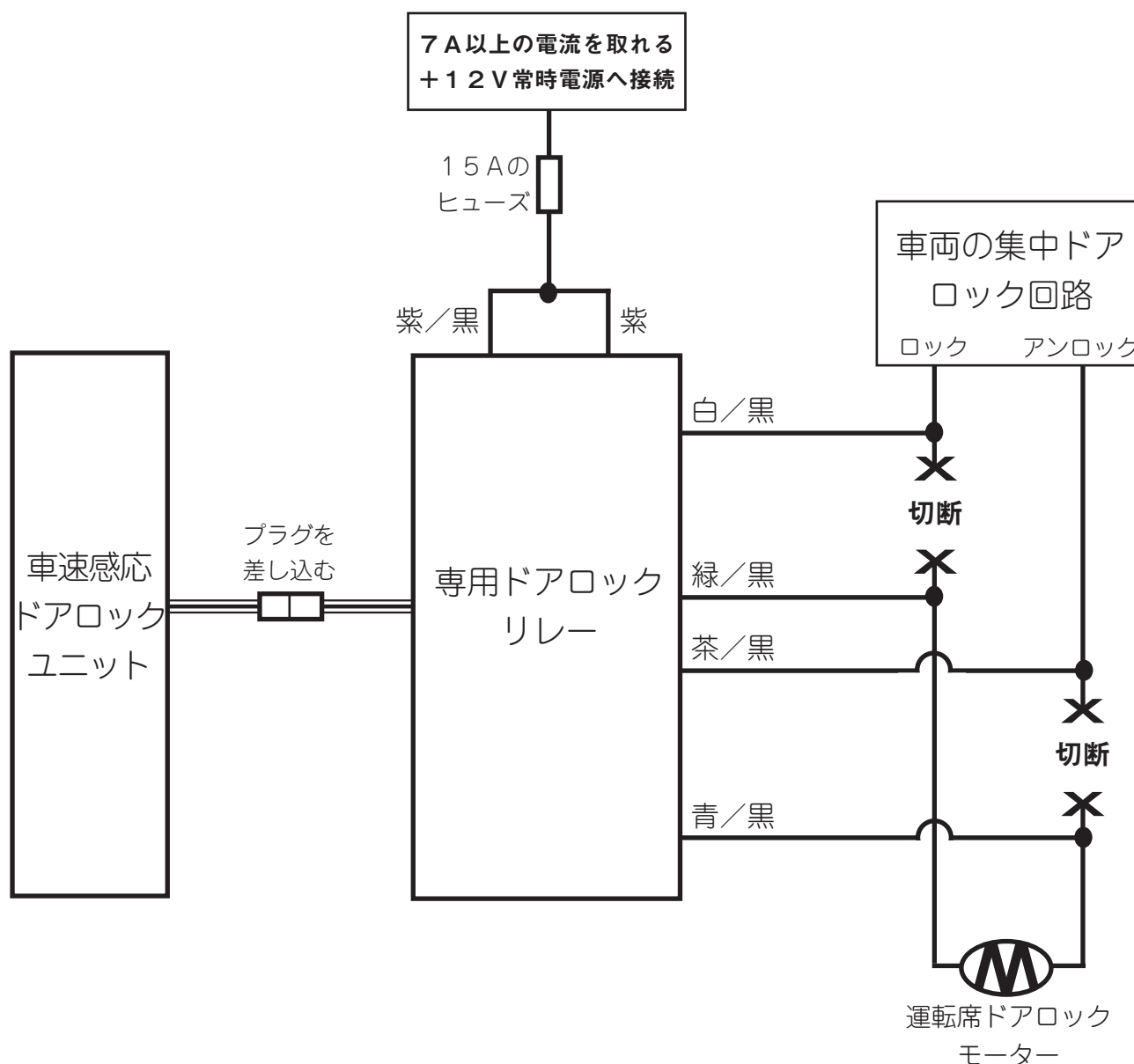


タイプC

ドアロックノブ連動方式

ドアロックスイッチは存在せず、運転席ドアロックノブを動かすと集中ドアロックが作動し、運転席以外のドアが連動してドアロック／アンロックする方式です。この方式はドアロックリレー（別売）が必要となります。

トヨタ以外のメーカーは殆どこの方式です。



注意！ 車両のドアロックモーター線を切断して配線を接続しますが「集中ドアロック回路」側と「ドアロックモーター」側を間違えるとヒューズが飛んだり、車両の集中ドアロック回路が故障しますのでよく確認して接続を行ってください。

機能を設定する

機能を設定する

設定機能を利用するために最低限必要な配線

設定機能を利用するには、最低限次の配線の接続が必要となります。
接続していない配線がある場合は、接続をしてから設定を開始してください。

線色	内容
黄	+12V常時電源
赤	+12Vイグニッション電源
黒	アース
緑	ドアロック出力線
水	ドアアンロック出力線
紫	ドアロックモーター動作検出線（アンロック側）

！ 注意 ！

設定モードではユニット及びユーザーが頻繁に集中ドアロックのロック／アンロックを繰り返します。車両の集中ドアロックの調子が悪い場合は、故障の原因となりますので、修理を行ってから設定機能を使用してください。

設定モードに入るには？

次の条件が成立した場合に、ユニットは設定モードとなります

1. イグニッション電源をONにする

イグニッションキーを廻しイグニッションONの状態にしてください。

※エンジンを始動する必要はありません。

※本体のLEDが消灯し、ユニットの電源が完全にOFFになっている状態（イグニッションOFFから30秒経過後）から、イグニッションONにしないと**設定モードには入れません。**

2. 集中ドアロックを操作する

イグニッションONから10秒以内に、集中ドアロックを次のように操作する（ロック、アンロックを1セットとして、3セット）

I：「ロック」 「アンロック」

II：「ロック」 「アンロック」

III：「ロック」 「アンロック」

※イグニッションコントロールドアロックを設定している場合は、1回目の「ロック」は省略します。

3. 設定モードに入る

設定モードに入ると、ユニットのLEDが消灯してからドアロックが自動的に「ロック」「アンロック」と1セット動作し、項目1の入力待機状態となります。

※1セット動作＝項目1を表しています。

※ユニットがドアロック作動回数で現在の**項目数を通知後は**、ユニットの現在設定されている値の数だけ**LEDが点滅している状態**となります。

※設定モードに入れなかった場合は、**キーをOFFにして30秒以上待つ**てユニットのLEDが消灯してからやり直してください。

※設定モードに入ってから10秒間なにもしないと、自動的にドアロックが「ロック」「アンロック」「ロック」「アンロック」と2セット動作し、項目2の入力待機に移ります。

※**設定モードでは、ユニットは擬似シートベルト非装着信号を送りません**ので、シートベルトは外しておいてください

※走行する場合は必ず**設定モードを終了してシートベルトを装着してください**

設定モードでの動作や設定方法を理解する

設定モードでは、次の点をよく理解して設定を行ってください。

設定モードでは、「ロック」「アンロック」の動作を1セットとして考え、

1. 先にユニットが**項目数をドアロックの作動回数で通知**し、
2. ユーザーが**設定値を集中ドアロックの操作回数で設定**します。

1. まず、ユニットが項目番号の数だけドアロックを作動させます

例：項目2の場合は、「ロック」「アンロック」「ロック」「アンロック」と2セット自動的に作動します。

※項目数は設定モードに入ったら1から開始され、順番に進んでいきます。

2. 設定したい値の数だけ集中ドアロックを作動させます

ユニットは現在の項目数を通知（上記1番の動作）して待機状態になります。

ユニットのLEDは現在の項目に設定されている値の数だけ点滅します。

設定値を変更する場合は、新たな設定値のセット数だけユーザーが集中ドアロックを作動させます。

例：2を設定したい場合は、「ロック」「アンロック」「ロック」「アンロック」と2セット操作する。ユニットのLEDは設定値を表し、2回点滅している状態になります。

※**設定値を変更しない場合は、なにもしないで待っていてください。**10秒経過すれば自動的に次の項目へ進みます。1番へ進んでください。

3. しばらく待ちます

しばらく待っていると次の項目に移動します。1番へ進んでください。

最終項目だった場合は、「ロック」「アンロック」と1セットのみドアロックが作動し、設定モードが終了します。

※設定モードが終了するとユニットのLEDは点灯状態になり、通常動作モードになります。

※設定中に「ドアを開ける（ドア開線接続時）」か、「イグニッションキーをOFFにする」と設定モードは終了します。

！ 注意 ！

ユニットが設定モードになっている状態では、危険ですので走行しないでください。走行した場合は設定モードは強制終了され、通常動作モードに移行します。強制終了した場合は最終項目の設定値は保存されません。

設定機能の内容

取り付ける車種や、使用方法に応じて以下の機能設定が選択できます。設定できる値のうち、アンダーラインのある方が初期設定値です。

1. 擬似シートベルト信号出力

ドアロック、アンロック信号を出力する前に擬似シートベルト非装着信号を出力するか否かを設定します。シートベルトをしているとドアロック／アンロック信号を受け付けない車種の場合に ON にしてください。

※機能させるには擬似シートベルト信号線の配線が必要です

(1)OFF、(2)アクティブ時アース、(3)非アクティブ時アースが設定できます。

2. イグニッションコントロールドアロック／アンロック

エンジンを始動／停止したときにドアをロック／アンロックするか否かを設定します。

(1)OFF、(2)始動時ロックのみ、(3)停止時アンロックのみ、(4)始動時ロックと停止時アンロックの両方

が設定できます。

※アンロックを機能させるには常時電源の配線が必要です

3. エンジン停止後 30 秒以内ドア開時アンロック

エンジン停止後、30 秒以内にドアを開いたときに全ドアをアンロックするか否かを設定します。

(1)OFF、(2)運転席ドアを開けたとき、(3)何れかのドアを開けたときが、設定できます。

※機能させるには常時電源の配線が必要です

4. 車速感応ドアロック

車速感応ドアロックを行う速度を設定します。パルス数と速度の関係は車種により異なります。OFF に設定すると車速感応ドアロックを行いません。

(1)OFF、(2)10 パルス、(3)20 パルス、(4)30 パルス、(5)40 パルスが設定できます。

5. プラス入力アンロック設定

プラス入力信号線（+入力1 桃線、+入力2 桃／白線）の設定です。入力をパーキングレンジ信号に接続している場合は、接続している入力でアンロックするように設定してください。

※初期設定ではONになっていますので不要時のみ設定を変更します

(1)OFF、(2) +入力1（桃線）のみでアンロック（+入力2は無効）、
(3) +入力2（桃／白線）のみでアンロック（+入力1は無効）、
(4) +入力1（桃線）と+入力2（桃／白線）のどちらでもアンロック
が設定できます。

※ OFF に設定すると+入力1（桃線）と+入力2（桃／白線）のどちらも無効になります。

6. マイナス入力アンロック設定

マイナス入力信号線（-入力1 青線、-入力2 青／白線）の設定です。入力をパーキングレンジ信号に接続している場合は、接続している入力でアンロックするように設定してください。

※初期設定ではONになっていますので不要時のみ設定を変更します

(1)OFF、(2) -入力1（青線）でアンロック（-入力2は無効）、
(3) -入力2（青／白線）でアンロック（-入力1は無効）、
(4) -入力1（青線）と-入力2（青／白線）のどちらでもアンロック
が設定できます。

※ OFF に設定すると-入力1（青線）と-入力2（青／白線）のどちらも無効になります。

7. プラス入力3切り替え

プラス入力3（桃／黒線）のアンロック条件を切り替えます。入力信号に応じて設定してください。

例：この配線を燃料ポンプへ接続する場合は、ポンプへの給電が停止したときにアンロックさせることになりますので2番に設定します。

下記の3種類が設定できます。

(1)OFF、(2)ON->OFF 時アンロック（燃料ポンプ用）

(3)OFF->ON 時アンロック（通常のアロック入力 (+)）

※ L 端子信号（充電警告灯信号）線が接続されていれば、エンスト時に燃料ポンプが停止しアンロックしますので、改めて燃料ポンプへの配線を行う必要はありません。

※ OFF に設定すると+入力3（桃／黒線）は無効になります。

8. ドアロック前ドアアンロック、ドアアンロック前ドアロック

ユニットがドアロック制御する直前に、ドアアンロック制御を行うか否かを設定します。

運転席ドアロックノブに連動して集中ドアロックが作動する車種の場合、運転席ドアがロック状態で、運転席以外のドアがアンロック状態の場合に集中ドアロックが作動しない現象を回避する為に使用します。

(1)OFF、(2)ロック前アンロック、(3)アンロック前ロック、(4)両方が設定できます。

※通常はアンロック前ロックは使用しません。

※この現象は運転席ドアロックノブ連動集中ドアロック搭載車の場合で、次のようなシーンで発生します。

1. 通常走行後、一旦停止して**運転席以外の乗車員が自分で**ドアをアンロックし、降車する。
2. 上記の場合、運転席ドアがロック状態のまま、降車したドアのみアンロック状態となります。
3. インテリロックユニットはドア開を検出しているのので再走行時に車速ロック制御を行いますが、**運転席ドアがロック状態の為に集中ドアロックが作動せず、降車の為にアンロックしたドアをロックできない。**

9. 入力スキャンタイム

信号入力に追従する速さを設定します。パーキングレンジ信号への配線接続が困難な場合は、カーナビ用のリバースレンジ信号へアンロック線を接続します。この場合、駐車時にシフトを素早くD⇒R⇒Pにセレクトした際に、入力に追従できずアンロックしない場合がありますが、設定を1/60SECに変更すれば解決することがあります。

(1)1/30SEC、(2)1/60SEC

が設定できます。

※1/60SECに設定した場合、ノイズに応答しやすくなります。

ノイズにより誤作動する場合は1/30SECに設定を戻してください。

参考資料：一般的な車種（トヨタ車）での取り付け方

一般的に、コンビネーションメーター裏にはユニットの動作に必要な配線が集中しています。今回はコンビネーションメーター裏での配線接続を行う場合の例をご紹介します。

1. コンビネーションメーターを取り外します

メーターカバーがねじで固定されていたり、はめ込み式になっていたりしますので確認して取り外します。外れたら、コンビネーションメーター本体を取り外します。

- ※コンビネーションメーターは複数のネジで固定されていますので、ドライバーで外してください。メーターをゆっくり手前に取り出すと背面にいくつかのコネクタが差し込まれていますので、すべて外してからメーター本体を取り外します。
- ※コネクタは中央部分にロックがありますのでロック部を押しながら引くと外れます
- ※メーター本体を取り外す場合は、メーターパネルに傷をつけないように慎重に作業を行ってください

2. メーター裏での配線を接続します

メーターに接続されていたコネクタへユニットの配線を接続します。配線の接続先すべてをテスターで調べると大変ですので、事前にディーラーにて該当する部分の配線図を入手しておく事をオススメします。

車速感応ドアロックユニット	メーター裏のコネクタ
黄	+12V 常時電源
赤	+12V IG 電源
黒	車両アース
青	チャージランプ信号
桃	Pシフトレンジ信号
茶	半ドア警告灯
白	車速パルス

- ※上記接続先が全てコンビネーションメーター部に存在するとは限りません
- ※チャージランプ信号／Pシフト信号はエンジンECU、半ドア警告灯はルームランプ（ボデーコンピューターから出力）や、ドアのピンスイッチからも取り出せます。Pシフト信号が無い場合は、カーナビ裏でRシフト信号へ接続するか、バックランプへ接続してください。

3. その他の配線を接続する - ロック／アンロック出力線

ドアロックを制御するロック／アンロック出力線は、次の2箇所のどちらかで接続を行います。どちらで接続できるかは、車種によって異なります。

・運転席足元サイドトリムパネル内にある中継コネクタ

- ※運転席ドアのキーシリンダーのロック／アンロック信号がそのまま車内に来ている場合はこの場所で接続できます。
- ※集中ドアロックスイッチのロック／アンロック信号もそのまま車内に来ている場合は、集中ドアロックスイッチの信号線を優先して接続を行います。

・運転席ドアにある集中ドアロックスイッチのコネクタ

- ※運転席ドアのキーシリンダーのロック／アンロック信号が、一旦集中ドアロックスイッチに入力され、LAN信号に変換されて車内へ来ている場合は集中ドアロックスイッチへ入力されている所で接続を行います。

車速感応ドアロックユニット	車体側の信号線
水	アンロック信号
緑	ロック信号

！ 注意 ！

ロック／アンロック信号は次の2種類あります。間違えのないように接続を行ってください！間違えるとユニットが破損する可能性があります

・車両がドアロックスイッチの状態を読み取るための信号

ロック／アンロックスイッチを押している間だけ0Vになる、又は運転席ドアのキーシリンダーにキーを差込みロック／アンロック側に廻している間だけ0Vになる配線が該当する配線です。

→この信号線にユニットの水、緑線を接続します。

・車両がドアロックモーターを動かすための信号

集中ドアロックが動作し、ドアロックモーターが動くときに+1.2Vになる信号。ロック／アンロックスイッチを押し続けても+1.2Vになった後すぐに0Vとなる配線が該当する配線です。

→この信号線には水、緑線を接続しないでください！

4. その他の配線を接続する — アンロック検出線

ユニットの紫線は車両の集中ドアロックの作動（アンロック側のみ）を検出する為に、運転席側ドアのドアロックモーター線2本のうち、アンロックしたときに+12Vになる配線へ接続します。次の場所で接続できます。

・運転席足元サイドトリムパネル内にある中継コネクタ

※集中ドアロックが作動し、アンロックしたときに一瞬+12Vになる信号線へ接続します。

車速感応ドアロックユニット	車体側の信号線
紫	アンロックモーター信号

5. その他の配線を接続する — 擬似シートベルト出力線

トヨタ車ではロック／アンロック信号線の接続（前頁3番を参照）をキーシリンダー信号へ接続した場合、運転席のシートベルトをしていると信号を受け付けない車種があります。この場合は、ユニットがロック／アンロック信号を出力してもドアロックが作動しませんので、擬似シートベルト未装着信号線（灰色線）の接続を行います。次の場所で接続できます。

・運転席シート下にある「シートベルトバックルスイッチ」のコネクタ

※コネクタを接続した状態でテスターで対アースにて電圧を測定し、シートベルト装着時に+5V～+12V、シートベルト非装着時に0Vになる配線に接続してください。

車速感応ドアロックユニット	運転席シート下コネクタ
灰	シートベルト信号

※擬似シートベルト線を接続すると、ユニットがドアロック／アンロック制御を行うときに、コンビネーションメーターの「シートベルトウォーニングランプ」が点灯（点滅）しますが、異常ではありません。

※同時にシートベルト警告ブザーが鳴る車種もあります。

動作確認

ユニットの取り付けが終わったら、全ての配線が正しく接続されていることを確認し、**コンビネーションメーターのコネクタを接続してください。**

※コンビネーションメーターが車速パルスを生成している場合があり、コンビネーションメーターを接続しないと車速パルスが認識できない為、ユニットは動作しません。

配線の確認が終了したらエンジンを始動し、全ての計器が正しく動作しているか確認してください。問題なければ走行し、約 10km/h でメーターパネル内のシートベルトウォーニングランプが 1 秒程度点灯（灰色線接続時）し、ドアロックが作動するか確認してください。また走行後にパーキングレバーを P ポジションにしたときにアンロックするかどうか確認してください。

トラブルシューティング

エンジンを始動しても本体のLEDが点灯しない

ユニットが全く動作しない状態です。電源が正しく取れていないか、ヒューズが切れている可能性があります。

→ 赤線、黒線、ヒューズを確認してください。

ロック／アンロックしない

可能性が高い順に「車速パルス線が正しく接続されていない」、「シートベルト信号が正しく接続されていない」、「ドアロック／アンロック線が正しく接続されていない」という原因が考えられます。

→ 白線、灰線、水線、緑線を確認してください。

※トヨタの一部車種ではコンビネーションメーターのコネクタが接続されていないと車速パルスが出力されない場合もあります。この場合はコンビネーションメータを取り外した状態では動作しません。

ロックしないがアンロックはする

ロック配線に問題があります。

→ 緑線を確認してください。

アンロックしないがロックはする

アンロック配線か、アンロック信号入力線に問題があります。

→ 水線、桃線、青線を確認してください。

ロックとアンロックの動作が逆になる

ロック配線とアンロック配線が逆になっています。

→ 水線と緑線を入れ替えてください。

取り付け後にパワーウィンドウが動作しない

パワーウィンドウ回路がリセットされていますのでパワーウィンドウの設定を行ってください。詳細は車両の取り扱い説明書をご覧ください。

※バッテリーのマイナス端子を外して作業した場合は、全てのパワーウィンドウを初期化してください。

参考資料－本体のLEDの点滅回数

通常モード時

点灯 通常動作モード、入力なし

低速点滅 車速パルス入力あり

※車速パルス入力が続いている限り低速点滅しています。

高速点滅 イグニッション電源 OFF 後本体電源 OFF まで

1回 学習モード強制終了（車速パルス検出）

2回 イグニッション電源ON検出

3回 ドアオープン検出

4回 +入力1、2検出

5回 -入力1、2検出

6回 +入力3アップエッジ検出

7回 ドアロックモーターアンロック検出

8回 +入力3ダウンエッジ検出

9回 パニックモード移行（繰り返し点滅します）

学習モード時

1. ユーザーが集中ドアロックを操作する前

現在の項目に対する設定値の数だけ点滅します。

2. ユーザーが集中ドアロックを操作した後

設定する値の数だけ点滅します。

MEMO

A series of 25 horizontal dashed lines intended for writing a memo.

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

本書はお買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合に、次に記載する内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

<無料保証規定>

1. 正常な使用状態にも関わらず発生した故障は無料修理させていただきます。
2. 製品の故障による次の損害は保証の対象外となります。
 - ・製品の故障により発生した作業工賃や災害
3. 保証期間内でも次の場合は有償修理とさせていただきます。
 - ・使用上の誤りや、不当な修理／改造による故障・損傷
 - ・火災・水害・落雷、その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害などによる故障・損傷
 - ・本書の添付がない場合、及び本書にお買い上げ店とお買い上げ日の記入がない場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行致しません

品番	GSP-ITL04	
保証期間	お買い上げ日から 3 年間	
お買い上げ日	※納品書が購入証明となりますので、本書と一緒に大切に保管してください。	
お客様	ご住所 _____	
	お名前 _____ 様	
	電話 () —	
販売店	住所・店名 _____	
	電話 () —	

株式会社 ガレイラ

<http://www.galleyra.co.jp>

〒545-0002 大阪市阿倍野区天王寺町南3丁目7-11 電話 06-6131-6300